

国立学園小学校 4年 榊組  
榊見 暁子

とても大切な上下水道

4年 榊組 榊見 暁子

日本では水道のじょう口をひねるとすぐに清

潔な水が出てきますが、それは日本の上下水

道がきちんと整備されているからです。日本

は上下水道の普及率が世界でも高く、96%

らしいです。でも、水が足りていない

または、水が清潔でない国もあります。

イタリヤ、エリトリ

ア 19%、レソト、パプアニューギニア 37%、

国立学園小学校

ソマリア 39%、など、日本とはほど遠い数値です。

どの国もあまり聞いたことのない国名でした。

か、アジアやアフリカやインドの国だったの

で、トコが多々、事を関係しているのかな、と思

いました。そしてその国では川に水をくみ

行くため、学校に通えない子供もいるそう

です。上下水道がないと、衛生にもなりません。

だから、上下水道が整備されていることは私達の生

活にとっても重要なことだと思

います。ちなみに、日本では4%の上下水

所は山おくり貯水タンクを使い、貯水タンクの中は定期的にそうじをして、うです。

日本の上下水道についてさうじ調べてみると、かんきょうのためになる工夫があることかわかりました。一つめは、下水をしょりした時に出る汚泥を焼いてセメントの材料にして下水道管に再利用したり、自動車の燃料にしてる事です。二つ目は、再生水を公園のトイレの水や夏のうち水などに利用している

国立学園小学校

ことです。私は地球温暖化を抑制するためにも、バイオ燃料として再利用することはとても良い取り組みだと思います。

私は汚水をへらすためにどうすればいいのか考えました。生活は、水は、台所のは、水が最も多く40%なので、台所で油などをながさない事がとても重要です。うちでは、うし、ているのか気にな。たので、母に「天ぷらの油などはどうしているか」と聞いて、オイルポットに入れてるかし、再利用している」と言。

